

| | |
|--------|---|
| テーマ 13 | 音・照明技術等を活用した観光スポットの コンテンツ機能強化検証（浜松市） |
|--------|---|

1. 解決したい課題の内容

- ・浜松市西部に位置する「舞阪町観光シンボルタワー（弁天島の赤鳥居）」は、1973年に舞阪町観光協会によって設立されてから今に至るまで地域のシンボルであるとともに、浜名湖を代表する観光スポットとして、また夕暮れ時にはフォトジェニックなスポットとして、多くの人に認知されている。2023年には設立50周年を記念した弁天島花火大会も開催された。
- ・このシンボルタワーは夜間にシンボルタワー下部からの照明によりライトアップ（単色）されているが、経年劣化と塩害によるライトアップ機器の劣化が著しく、保守点検や設備改修にコストがかかっている。また、遠方照射や多色ライトアップについても検討しているものの、技術面やコスト的に採用に踏み切れていない。
- ・フェス等のイベント実施時には、漁船を利用して多色照射も実施しているが、恒常的な実施は難しいのが現状である。

2. 実現したい目標について

浜名湖を代表する観光施設として「舞阪町観光シンボルタワー（弁天島の赤鳥居）」の観光機能を強化し、浜名湖への観光客を増やすとともに、近隣のタイムエコノミーの推進を図りたい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・安価で多色を利用できる照明技術
- ・塩害等に強い照明設備を構築・運用できる技術
- ・スポットの魅力的なデザイン・コンテンツ制作を行う実行力

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・上記技術等を用いたプロトタイプを用いてタワーを多種多様にライトアップしたり、コンテンツを付加する実証実験を実施し、その効果を検証する

※多色の夜間照射にあたっては浜名漁協との調整が必要となるため、実証プロジェクトを進める中で関係者間での調整実施を想定する

※南側からの遠方照射にあたっては、浜名バイパスへの影響を加味する必要があるが、近隣宿泊施設の協力があれば、高位置から照射も可能と考えられるため、実証プロジェクトを進める中で関係者間での調整実施を想定する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・舞阪町観光協会「観光情報：観光スポット」

<http://www.bentenjima.jp/info/>

- ・浜松河川国道事務所「浜名バイパス」

<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/road/route1/bp08.html>